

# 平成23年 第4回沼田町議会定例会 一般質問要旨

## 【町長】

通告順	1	質問議員	高田議員
質問項目	小中一貫教育の推進について（町長・教育長）		
質問内容	<p>本年6月の第2回定例会で町長は、小学校改築費用削減の答弁の際「一貫教育導入の費用に充てたい」と説明されています。</p> <p>1. 町長・教育長は「小中一貫教育」に対しどのような見解をもっているのか。</p> <p>2. 現在の幼稚園から小学校、小学校から中学校への接続は上手くいっていると考えているのか。また、問題点はあるのか。</p> <p>一貫教育を進めるのであれば</p> <p>3. 今後どのようなスケジュールで進めていくのか。</p> <p>4. 「小中一貫教育」の目的（目標）をどこに置くのか。何を求めるのか。</p>		

通告順	2	質問議員	長原議員
質問項目	地域活性化と併せた利雪の推進について		
質問内容	<p>昨年と本年に渡り商工会を中心に地域資源∞全国展開事業の補助金を活用し夏に雪を使ったイベントとして「雪夏祭」が実施され、利雪の町、沼田町をアピールすることが出来たと思っております。</p> <p>この事業を今後共継続して行くべきと考えますが、今後の補助金対応が懸念されます。町長の見解をお伺いします。</p>		

通告順	3	質問議員	絵内議員
質問項目	病院に付いて		
質問内容	<p>町も病院問題に付いて、今は白紙かと思いますが、将来沼田の病院をどの様に進めるかいろいろと考えなくてはならないと思いますが、私は今の総合病院ではなく、内科と療養方にした方が、経費も削減に成り、町にも色々とメリットが多いと思いますが町長の見解をお伺いします。</p>		

通告順	4	質問 議員	久保議員
質問 項目	公共政策としてのガの駆除に、どのように予算計上しますか？（町長・教育長）		
質問 内容	<p>7月5日、役場による町民への説明会『町民懇談会』で、町民から行政によるガの駆除の期待について質問が出たとき、町長は「対応を検討する。」と言ってくれました。「対応」には「予算」という約束の担保と、「予算」を最大限に有効に執行するための高度な調査と計画、そして実行が必要です。</p> <p>&lt;ガの繁殖時期 = 駆除の適期&gt;  4～5月 繭の卵で越冬し気温が20度を超えると1cm前後の毛虫になる。  6月 毛虫は糸を吐き、風を利用して広域へ広がる。いわゆるブランコ毛虫。  7月 毛虫は広葉樹の葉を喰い、10cmを超える。樹木の被害が甚大。  8月 住宅街を巨大な毛虫が大量に這う。しだいに個体ごとに繭になる。  9月 成虫＝ガになる。ガを食べたカラスが役場、自動車教習所に大発生。</p> <p>&lt;ガの主な生息地と、その広がるルート&gt; . . . . . ガ・バスターズ調べ</p> <p>【夜高コース】  パークゴルフ場→夜高会館→旧・中学校・自転車置き場と壁→吉田正雄邸前の街路樹→沼田大門→中山そば前の街灯→パチンコ屋</p> <p>【明日萌コース】  馬狩建設裏の雑木林→セイコーマート→中学校の樹木</p> <p>1. 上記のようにガの習性の調査に基づく駆除の公共政策を行いますか？  2. 町内の毛虫とガの生息地と町民感情を把握しているか？その手法は？  3. 町施設の不衛生が原因で、町民の財産に毛虫やガによる不利益が生ずる被害弁償を事前に防ぐための予算と担当をどのように考えているか？  4. 特に4～6月に旧・中学校西側における毛虫時の駆除が効果的であると考えられるが、次年度の戦略予算に盛り込まれますか？  5. ほたるの里オートキャンプ場観光客のガの苦情対策に駆除はしたか？  6. 苫小牧港がマイマイガのハイリスク港になるなどの産業被害対策は？</p>		

通告順	5	質問 議員	久保議員
質問 項目	沼田町の子どもたちの食育、地産地消、健康（心と体）のためのごはん給食は、どうなりましたか？（町長・教育長）		
質問 内容	<p>1学期に検討委員会を立ち上げられ、教育委員長、検討委員長、主査ら多くの方の熱心な取り組みに感謝と敬意を表します。</p> <p>多くの保護者、保護者の先輩としての町民、農業生産者、そして子どもたちなどの期待が高揚している中、せっかくの豊かな議論と調査が無駄になり、町民の行政への協働意識がニヒリズムに陥らぬよう、官民が相互に相手の意思決定メカニズムや行動メカニズムを理解・共有することで信頼関係をより持続可能で強固なものにするための意義ある礎としての「ごはん給食」の実現への大きな期待を込めて下記の質問をさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ごはん給食は、「あたたかいごはん」、「炊き立て」、「地産地消」、「完全給食」、「おかずとの総合」などの多様なニーズと目的を同時に成立させる効果的な政策であると思いますが、いかがお考えでしょうか？</li> <li>2. 仮に改修工事に450万円かかるとして、5年間利用すれば、1年当たり90万円の支出。年90万円の支出で町民の幸福が築けるのであれば、他の事業と比較しても費用対効果は計り知れないと思うが？</li> <li>3. 行政が整えた設備で、商工会などの民間が「炊飯」や「輸送」を行えば雇用の創出になり、民間の設備投資リスクも回避できると思うが？</li> <li>4. 机上の議論の他に実験として、2週間ほど中学校の家庭科室で炊飯し中学生だけにでも食べていただき、その反応を見るのはいかがか？</li> <li>5. 改修や、給食費などに利用できる助成金や補助金をご紹介ください。</li> <li>6. 文科省通知「学校における米飯給食の推進について」への見解は？</li> </ol>		

通告順	6	質問 議員	久保議員
質問 項目	「沼田町がんばる商店街」応援手当条例として店舗の景観や看板などのリフォーム助成をしてはいかがか？		
質問 内容	<p>1. 商店街の集客を目的とした今年度の本予算である『きらり輝く商業振興事業補助』75万円、『まちづくり活性化支援事業』300万円などの現時点での効果、及び目標への進捗度の説明と、あわせて、これらの年度の残りの期間への期待と、新年度の戦略予算の構想を説明願います。</p> <p>2. 農家のみなさんの家屋前などには各種の助成金を活用した看板が立ち、近代的な農村風景の創設に貢献しているところです。同様に商店街にも公平な助成金が期待されるということです。</p> <p>そこで、『住宅改修（リフォーム）助成』（今年度500万円）を活用してはいかがでしょうか？</p> <p>本助成は前期2年サンセット事業では「商工振興策」として、さらに今年度からは4年間の「定住応援」として広く町民に活用されています。</p> <p>しかし、住宅に特化し、法人や商店への活用は奨励されておりません。長く沼田町に住んでいる町民には、「この店舗は何を売っているか」が分かっても、観光客や移住者にとっては分かりにくい旧来の看板や、歴史的な外観だけでは残念ながら販売品目などや魅力が分かりかねることもあり、商店街の売り上げと顧客の利便性の機会を同時に失う危険性を宿している店舗もあるかもしれません。</p> <p>沼田町の顔でもあり、夜高あんどん祭りでは勇壮な舞台ともなる沼田町のがんばる商店街の景観が寂しくなるのは全町民にとって望むところではありません。もちろん一般住宅とはまた別の意義で店舗のリフォームは業者にもやりがいのある仕事でありますし、明るく楽しく便利で、集客をより一層向上させる店舗は、町民の定住もよりいっそう促進させることでしょう。</p> <p>つまり、店舗のリフォームを助成金によって促進することは、本事業の理念である「商工振興策」と「定住応援」を同時に満足させるものです。現助成の適用の拡大でもかまいません、是非、店舗のリフォーム助成を行ってはいかがでしょう？</p>		

通告順	7	質問議員	上野議員
質問項目	沼田町のエネルギーについて		
質問内容	<p>今年の3月11日に震災がありその事により原子力発電事故が発生しそれ以後日本の国民がエネルギーに関心を持つようになったと思います。</p> <p>当、沼田町には雪エネルギーがありますが、もっと進んだ町にすべきと考えます。</p> <p>太陽光発電、風力発電、カナダで行なわれている地熱発電等を考え、エネルギー（電気）を自給できる町にして、環境にやさしい町にすべきと思うが町長の考えを伺いたい。</p>		

通告順	8	質問議員	渡邊議員
質問項目	化石発掘体験について（町長・教育長）		
質問内容	<p>近年、生物の発祥のルーツを探るテレビ番組が多くなっています。沼田町の化石体験館の利用者数の増加も、移設・リニューアルの効果もあると思うが、子どもたちが、恐竜の骨や化石を直に見たり、触れたり、発掘体験をしたいという現われの増加と思います。</p> <p>しかしながら、発掘資源には限界がありますし、より重要な化石が眠っている事も考えられます。</p> <p>今後の発掘体験については、「指導体制や資源保護の問題も考慮しつつ、検討したい。」とありますが、化石発掘現場の保全整備は、小額予算で出来る話でも、いつまでも伸ばせる話でもありません。</p> <p>化石館と発掘現場の将来構想について、観光資源的見方から町長に、教育施設の見方から教育長に伺います。</p>		

通告順	9	質問議員	中村議員
質問項目	沼田厚生病院の赤字補填について		
質問内容	<p>沼田厚生病院は、医療制度改革の荒波の中で、19年度以降は恒常的な赤字経営となり、赤字分の全額を沼田町で補填しています。</p> <p>特別交付金での助成があり、助かってはいますが憂慮しています。</p> <p>そこで、過去3年間の沼田町の純手出し部分はいかほどか。</p> <p>一方で、沼田町民が沼田厚生病院に支払っている個人負担部分の総額はいかほどか。</p> <p>その手出し部分を町が助成して、「沼田町民は沼田厚生病院の医療費無料」とした場合、</p> <p>①患者の増加によって、どのくらいの病院の収益増が見込めるか。</p> <p>②その場合、病院の損益はどのくらい改善されるか。</p> <p>③会計から国保会計への繰り入れを増やすことによる影響額はどうか。</p> <p>④結果として、町の純手出し部分はどのくらいになるか。</p> <p>この政策は、移住定住政策の切り札としてもビックコマースになると思うが、どうか。</p>		

通告順	10	質問議員	津川議員
質問項目	人口減少に歯止めをかけるための政策		
質問内容	<p>各市町村とも人口減少には頭を悩めている所ではありますが、我が町も今まさに3600人を切りそうな勢いがあります。</p> <p>これまで、企業誘致や移住定住、高齢者、子育て等々いろいろな政策を講じてきました。どの政策も大変重要であり不可欠ではありますが残念ながらこれといった成果は上がっておりません。</p> <p>今後、人口減少に歯止めをかけるため町長はどういった政策が一番有効性があると考えているのか伺いたい。</p>		